

地域経済分析システム「RESAS」
新メニュー（経営環境分析シート機能）のリリースについて

令和6（2024）年8月29日
中小企業庁事業環境部
企画課調査室

「デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和4年12月23日閣議決定、令和5年12月26日改訂）」（以下「総合戦略」という。）において、RESASによる地域企業の経営支援、利用者のニーズを踏まえたデータ活用の環境整備が求められていることから、昨年10月より中小企業経営者向けにRESASを活用した経営環境分析の出前講座を全国で開催し、約1000名の中小企業経営者等に参加いただきました。

【総合戦略抜粋】

RESASにより、地域経済に関する様々なオープンデータを地図やグラフ等で分かりやすく可視化して提供するなど、データ利活用の支援活動を行う。これにより（中略）エビデンスに基づいた地方公共団体の政策の企画立案（EBPM）や地域企業の経営判断、課題解決を推進する。

地方公共団体や地域企業等のニーズを踏まえ、RESAS等において、データの拡充や、API連携による外部データの活用、描画速度の向上等の機能向上に取り組み、多様なユーザーがデータを容易に利活用できる環境を実現する。

今般、受講者の要望を踏まえ、誰でも、簡単に、データに基づく経営環境分析を行うことができる機能をRESASに実装しました。本機能は、中小企業経営者だけでなく、支援機関や金融機関、専門家など幅広い関係者に活用いただけます。

経営環境分析シート機能のポイントは以下のとおりです。

【ポイント1】

総務省が運営する政府統計ポータルサイト「e-Stat」と連携し、RESASの操作画面から同サイトへ遷移して自社の業種を調べることができます。

【ポイント2】

業種（大分類、中分類、分類コード）を選択すると、業界動向に関する統計データが自動で表示されます。

【ポイント3】

総務省及び経済産業省が実施する経済構造実態調査の最新年データ（2024年7月公表）により、コロナ禍の収束に向けた業界動向を確認することができます。

【ポイント4】

レスポンス機能により、表示画面が自動で最適化されるためスマートフォンでも簡単に利用することができます。

<メニュー画面>

検索条件 × 閉じる

自社の業種を指定する

e-Stat
政府統計の総合窓口
業種はこちらから検索
 外部サイトに遷移します

注意事項
・自社の業種に当てはまっているかは、事例より確認してください。
・自社の業種がうまく探し出せない場合は、検索する単語を変えて調べてください。

経済センサス 大分類
G 情報通信業

経済センサス 中分類
39 情報サービス業

経済センサス 分類コード
391 ソフトウェア業

自社の経営状況を指定する

2021年以降の傾向
 黒字傾向 赤字傾向

経営環境分析シート

1 自社の業種 (経済センサス産業分類)
(大) 情報通信業
(中) 情報サービス業
(分類コード) ソフトウェア業

2 自社の経営状況
黒字傾向

✓ 自社業界の規模
経済センサス活動調査
全国
付加価値額 (百万円)
2021年
9,412,514

✓ 自社業界の動向
経済構造実態調査
全国
付加価値額 (百万円)
2022年 9,587,872
2023年 9,877,509
付加価値額 前年比
2022年 - 2023年
+3.0%

経済センサス-活動調査は、5年に1度実施される個人経営含む全ての企業（一部除く）を対象とする調査です（実数値）。

経済構造実態調査は、経済センサス-活動調査の実施中間年における経済構造統計を作成することを目的とした調査で、本シート（※）では個人経営を除く法人企業を対象として表示しています（推計値）。 ※ 産業横断調査の二次集計結果を活用

信号に応じた優先的な取り組み

信号	業界	自社	説明
青信号	拡大傾向	黒字傾向	業界は拡大傾向、自社事業は黒字傾向のため、供給を増やす取組、単価を上げる取組の優先度が高いのではないだろうか。
黄信号	拡大傾向	赤字傾向	業界は拡大傾向、自社事業は赤字傾向のため、赤字の原因を確認する取組（本業で稼いでいないのが、無駄な支出が多いのか）の優先度が高いのではないだろうか。
点滅信号	縮小傾向	黒字傾向	業界は縮小傾向、自社事業は黒字傾向のため、自社の強みを更に磨く取組、増加傾向の新たな業界を開拓する取組の優先度が高いのではないだろうか。
赤信号	縮小傾向	赤字傾向	業界は縮小傾向、自社事業は赤字傾向のため、社内で取り組むことができる費用を下げる取組（固定費、変動費の削減）の優先度が高いのではないだろうか。

地域経済分析システム RESAS

地域経済分析システム（RESAS）に新機能を搭載しました



産業構造マップ ⇨ [経営環境分析シート](#)

- デジタル田園都市国家構想総合戦略において、RESASによる地域企業の経営支援、利用者のニーズを踏まえたデータ活用の環境整備が求められていることから、誰でも、簡単に、データに基づく経営環境分析を行うことができる機能をRESASに実装します。
- 経営環境分析シート機能では、**自社業界の規模とコロナ禍の収束に向けた業界動向が簡単に確認でき、優先的な取り組みの検討に活用することができる**ことから、中小企業経営者だけでなく、支援機関、金融機関、専門家など幅広い関係者に活用いただけます。

経営環境分析シート機能における4つのポイント

1 自社の業種を調べることができる



政府統計の総合窓口

総務省が運営する政府統計ポータルサイト「e-Stat」と連携

2 操作数が少ない



「業種」と「経営状況」を選択するだけで業界動向に関する統計データが自動で表示

3 最新データが確認できる



経済センサス-活動調査及び経済構造実態調査の最新年データを実装

4 スマホにも対応



レスポンス機能により、表示画面が最適化されるため、スマホでも簡単に利用可

検索条件 × 閉じる

自社の業種を指定する

業種はこちらから検索

外部サイトに遷移します

注意事項

- 自社の業種に当てはまっているかは、事例より確認してください。
- 自社の業種がうまく探し出せない場合は、検索する単語を変えて調べてください。

経済センサス 大分類

G 情報通信業

経済センサス 中分類

39 情報サービス業

経済センサス 分類コード

391 ソフトウェア業

経営環境分析シート

1 自社の業種
(経済センサス産業分類)

(大) 情報通信業
(中) 情報サービス業
(分類コード) ソフトウェア業

2 自社の経営状況

黒字傾向

自社業界の規模

経済センサス活動調査

全国

付加価値額 (百万円)

2021年

9,412,514

経済センサス-活動調査は、5年に1度実施される個人経営含む全ての企業（一部除く）を対象とする調査です（実数値）。

自社業界の動向

経済構造実態調査

全国

付加価値額 (百万円)

2022年 9,587,872

2023年 9,877,509

+3.0%

経済構造実態調査は、経済センサス-活動調査の実施中間年における経済構造統計を作成することを目的とした調査で、本シート（※）では個人経営を除く法人企業を対象として表示しています（推計値）。 ※産業横断調査の二次集計結果を活用

信号に応じた優先的な取り組み

<p>自社業界 拡大傾向</p> <p>自社 黒字傾向</p> <p style="font-size: 24px; color: blue;">● 青信号</p> <p><small>業界は拡大傾向、自社事業は黒字傾向のため、供給を増やす取組、単価を上げる取組の優先度が高いのではないのでしょうか。</small></p>	<p>自社業界 拡大傾向</p> <p>自社 赤字傾向</p> <p style="font-size: 24px; color: orange;">● 黄信号</p> <p><small>業界は拡大傾向、自社事業は赤字傾向のため、赤字の原因を確認する取組（本業で稼げていないのか、無駄な支出が多いのか）の優先度が高いのではないのでしょうか。</small></p>	<p>自社業界 縮小傾向</p> <p>自社 黒字傾向</p> <p style="font-size: 24px; color: orange;">☀ 点滅信号</p> <p><small>業界は縮小傾向、自社事業は黒字傾向のため、自社の強みを更に磨く取組、増加傾向の新たな業界を開拓する取組の優先度が高いのではないのでしょうか。</small></p>	<p>自社業界 縮小傾向</p> <p>自社 赤字傾向</p> <p style="font-size: 24px; color: red;">● 赤信号</p> <p><small>業界は縮小傾向、自社事業は赤字傾向のため、社内で取り組むことができる費用を下げ取組（固定費、変動費の削減）の優先度が高いのではないのでしょうか。</small></p>
--	---	---	--

地域経済分析システム RESAS